

本年度4回目の土曜授業

本日の土曜授業は芸術鑑賞会でした。新型コロナ対策として全校生徒を分割して2回公演としました。また例年でしたら、保護者の皆さまにも鑑賞していただくところですが、今回はご遠慮願いました。ご理解のほどよろしくお願いします。



《和太鼓の体験コーナー》

公演の方は“Kogakusyu 翔”による「夢への道しるべ」。「Kogakusyu」とは「鼓楽衆」ということで、和太鼓や篠笛を中心とする邦楽器のバンドですが、ドラムやベース・キーボードが邦楽器を支えています。これまで和太鼓やロック・ジャズ・ポップス等、様々なジャンルを取り入れながらオリジナルの音楽を制作してきました。「聴いていただくすべての人に元気になってほしい、夢を持って前に進んでほしい」というのがモットーだそうです。近年では数多くのテレビ番組等で楽曲が使用されるほど活躍しているメンバーです。

1回1時間20分間の公演を2回実施していただきました。和太鼓の重厚な響きや軽快なテンポ、篠笛の心地よい音色がとても感動しました。和太鼓の体験コーナーもあって、生徒の皆さんも楽しめたことと思います。



第2回進路説明会

10月21日(木)には第2回目の
進路説明会が行われました。保護者の

皆さまにはお忙しい中、3年生をはじめ、1・2年生の保護者の皆さまにも多数参加いただきありがとうございました。

いよいよ3年生は具体的に選考試験を受ける進路先を決定する時期になってきました。今回の説明会では資料をもとに、どのような高校があるのか、また専修・専門学校はどうか、就職状況はどうかということや、選考基準や合格までの手順はどうなっているのか、また、願書の書き方はどうするのか等々、具体的な内容についてお話ししました。

今後、進路懇談会が数回行われていきます。また、その間には実力テスト等が行われ、受験先を決定する成績が出そろってきます。3年生にとって最も大切な時期。体調を崩す

ことなく、悔いのない進路選択と志望の達成に向けて、学校とご家庭が連携を密に取りながら支援していきたいと思います。よろしくお願いします。3年生の皆さん、最後まであきらめずに頑張りましょう。

生徒会が募金活動

生徒会役員メンバーで

「赤い羽根共同募金」を行いました。朝の登校時にメンバーが募金箱をもって協力を呼びかけました。

共同募金は、社会福祉法人中央共同募金会を中心とする全国各都道府県の共同募金会が推進しているものです。戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、「社会福祉法」に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。(赤い羽根データベース「はねっと」より)



お茶会のお花

先日、茶道部がお茶会をした折に茶室に飾られていたお花が校長室前に飾られています。お茶の先生のご配慮で校内に咲いているお花を中心に活かしていただいたものです。ありがとうございました。心が和みますね。

「俺の敵は、だいたい俺です!!」

本日の“Kogakusyu 翔”のメンバーは「夢を追いかける」お話をしてくださいました。そういえば、階段の踊り場に掲示されている図書紹介。その中に「宇宙兄弟」がありました。幼いころ宇宙飛行士になると約束をした兄弟。その約束通り、宇宙飛行士として活躍する弟と、挫折を繰り返しながらも約束を果たそうと必死に頑張る兄の物語です。この物語はまさに「あきらめずに夢を追いかける」お話です。

兄が教官から「あなたの敵は誰ですか?」と問いかけられ、答えた言葉が、「俺の敵は、だいたい俺です。」でした。その後「自分の“宇宙へ行きたい”って夢をさんざん邪魔して、足を引っ張り続けたのは、結局俺でした。」と続きます。心に響く言葉ですね。

